



◆ CONTENTS

01. 特集：エスプレッソ

- ・愛と誇りのブレンド
～スタッフ体験レポート～
- ・もっとおいしく ギャルソン・本・CD

02. 天神優人：久野雅之さん

映画監督

03. お昼のオアシス

- ◆ 天神発!早耳映画情報
- ◆ 天神ぶらぶら
- ◆ プレゼント&アンケート
- ◆ エスプレッソを片手に
- ◆ おやじのアンテナ

エスプレッソ

早いもので『天神エスプレッソ』が誕生して、ちょうど1年。しかしながら、普段、喫茶店で頼むのは、エスプレッソではなく量の多いカフェオレだったりする私たち…。“エスプレッソ豆”があると思いきや、エスプレッソのことを何も知らないことが発覚したのだ。

そこで今回、“エスプレッソ”をいろんな角度から紐とていくことに。エスプレッソは、じっくり丁寧に焙煎した豆の一番美味しいところをギュッと抽出した飲み物で、その醍醐味は“香りや風味、苦さの奥にある甘さ”にあるんだって。しかも最も美味しく味わうためには、あの小さなカップにチョロッと…あの量が最適なんだって！いやはや、驚いた。量より質、大人の飲み物なんですね。

さて、天神エスプレッソも同じ。天神にあふれる情報の中から、良いものだけを焙煎し、愛情込めて形にして、人間の生き様、または出来事やモノから垣間見られるユーモラスさや哀愁のようなものまでをお届けできたらと思っています。リニューアルして、さらに旨みを増したエスプレッソをどうぞこれからもヨロシク。

01 **愛と誇りのブレンド**
～スタッフ体験レポート～ ▶

02 **もっとおいしく ギャルソン・本・CD** ▶



VIDEO1 ▶ VIDEO2 ▶ STOP

※動画に不具合のある場合はWindows Media Player9(無料)をダウンロードしてご覧下さい。



※写真をクリックすると動画を見ることができます。

Media Player版 ▶01 ▶02

天神優人

～あの人の素顔～

R.レッドフォードが認めた才能

「浅田清掃社」映画監督 久野雅之さん (32才)



自分が決めたことは、何が何でもやり通す。久野さんの印象だ。高校時代の異業種監督ブームに触発され、友人に「映画監督になる」と宣言。「お前バカか」と一笑されたが本気だった。大学卒業後に上京。CM会社に入社する寸前で、地元で勝負しないまま東京に来た自分に疑問を抱き、再び福岡へ。「戻ってすぐ、今まで一緒に映画を作ってた仲間に『ごめんけど、縁を切るね』って言ったんです」。思わず聞き間違えかと耳を疑う私に「遊びになっちゃうから」とあっさり言い切った。その後、助監督を経て監督を目指すのが現実は厳しかった。チャンネルシティで映写技師をしながら悶々と過ごす日々…。

そんなある日、運命的な出会いが訪れる。出勤途中、身障者の男性がイキイキとビル清掃をする姿に遭遇、強い衝撃を受けた。好きな仕事をしているのに不満だらけの自分と、清掃という地味な仕事に前向きに取り組む彼。「一体どっちが偉いんだろうと思った。でもそんな上か下かという見方しかできない自分自身が情けなかった」。このショックを伝えたい。そんな湧きあがる気持ちで書いた脚本が、世界的にも有名なサンダンス・スカラシップ賞を受賞した。

初監督作品は、オール福岡ロケ。映画のおもしろさ、それは全てを言い尽くすのではなく観る人によっていろんな感じ方ができる自由さにあると言う。「自分の心が揺さぶられたり、これはおもしろいと思えるものがある限り、これからも映画を作っていきたい」。目下、地元で映画を作りやすくするシステムを構築中だ。「大画面＝映画じゃない。自分の人生かけてないと」。どこまでも熱い眼差しだった。

スカラシップを受賞した映画監督にインタビューと聞いて緊張していましたが、現れたのはTシャツにジーンズの爽やか好青年。しかしお話を伺ううちに、その奥に秘めた強さを痛感。やると決めたら絶対にやる、そんな自分の思いに忠実で素直な方ですよ。

by akiko kosaka

Media Player版 ▶01

お昼のオアシス

● MOCAJAVA CAFE (モカジャバ カフェ)



福岡市中央区警固1-5-6
(K. Hビル1F)
営業時間 (11:30~翌0:00)
定休日 (不定休)



「低コスト、ハイパフォーマンス！」これが私の生活のモットー！今回は、この言葉がぴったりなランチをご紹介します。低コストな食事ができる場所と言って思い出すのは、ファーストフード店。実はMOCAJAVA CAFEの売りは、「ファーストフードの様な気軽さ」。これで、何のお店か想像出来たかしら？そう！ハンバーガー(しかも特大サイズ)を食べさせてくれるお店なのです。

店内に入ると目に飛び込んでくるのはPOPな雑貨達、これらの雑貨は店長さんのアメリカに住む知人が送ってくれるそうで、もちろん販売もしています。かわいらしくて雰囲気だけでもお腹いっぱい！とは言っても、おいしそうなるハンバーガーを目の前にしたら、食らい付かずにはられないでしょう！

パンの間には、手作りのパテにトマトとレタス、お好みでケチャップとマスタードをかけていただきます。パンはふんわり、カリッと焼かれていて、パテからはジューシーな肉汁がいっぱい！これにスープ・サラダ・ドリンクが付いて700円~と低コスト。他にもタコライス(550円)なんかもあって、どれも「やみつきになる」味です。忙しい人にはテイクアウトも出来るので、是非アメリカンサイズのファーストフードを味わってみてね！



by Hiroko
Nakagawa

詳しく見る



STOP

HERO

play ▶



Media Player版 ▶01

コンフェッション

play ▶



▶02

トゥームレイダー-2

play ▶



▶03

ドラゴンヘッド

play ▶

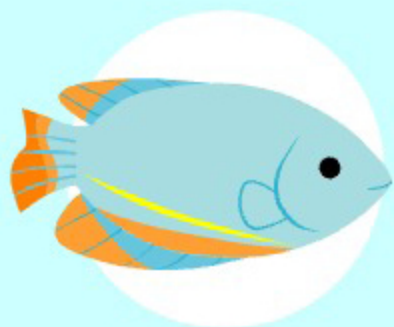
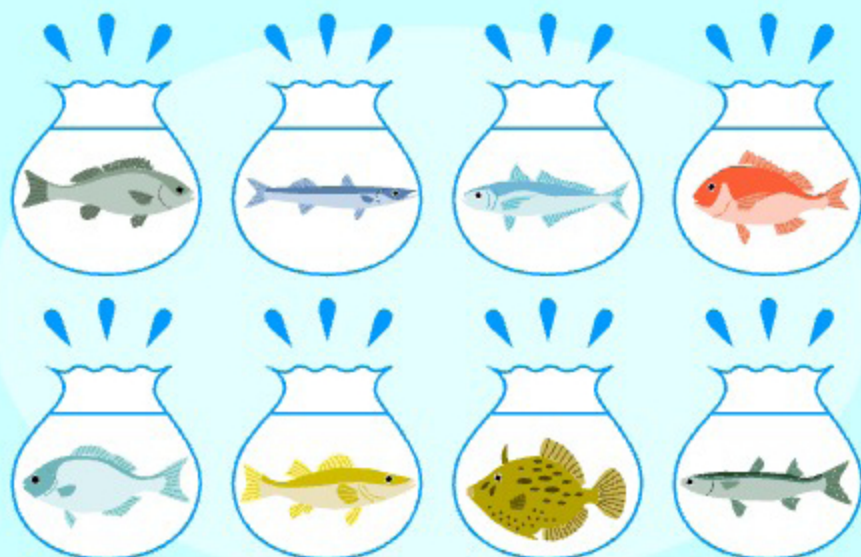


▶04

● 天神ぶらぶら

vol.6 アクアランドMで海な気分～♪

お魚は見るのも食べるのも（笑）大好き！水族館や海はちょっと遠くても気軽に魚を楽しめる場所があるんです。沢山の珍しい魚を見て、飼うこともできる…まさしく涼し・癒しのスポットです。



お魚たちを
クリックしてみてね！



アクアランドM

アクアランドM

住所:福岡市中央区天神2丁目11-3

ソラリアステージ4Fインキュープ内

電話:092-735-8155

営業時間:10:00-20:00

定休日:不定



プレゼント&アンケート



応募期間：2003年8月8日(金)～2003年9月12日(金)



ペアチケット
2組様

1. シネテリエ
「9 souls (ナイン・ソウルズ)」
鑑賞券



5名様

2. 天神コアラ
500円分図書券



30名様

3. 天神エスプレッソ
オリジナルポストカード

アンケートに答えてプレゼントももらおう!

アンケートはこちら

● エスプレッソを片手に

T.E. スタッフ一周年の想い…。

■そもそも天神エスプレッソを作ると聞いたのは、喫茶店でコーヒーを飲みながらだった。ちょうど、フリーのライターをやり始めたばかりの時期。初体験のビデオ撮影、インタビュー、動画編集も、今ではだいぶ慣れてきた。いろいろと細やかにサポートしてくれる仲間に囲まれて、充実した取材の日々を送らせてもらっている。これからも末永くエスプレッソと歩いていけたら嬉しいわ。

Akiko kosaka



Sumiko Umeno



■「あつという間だった」それが一年間エスプレッソを発行してきたの正直な気持ち。2年目は見ている人が満足できる内容にしたい。これからのエスプレッソ、期待してほしい。

Akiko Enomoto



■早いものです。この1年の経験は本当に密度の濃いものばかりでした。何よりも感動はエスプレッソスタッフの皆さんの仕事ぶり。脱帽です。'使命感'と'愛着'と'根性'無くしてどうしてここまで育ちましようか!? あっばれ!

Chie Nagashima



■この一年間、様々な人のおかげで、大きく育った天神エスプレッソ。私もエスプレッソに携わってからの様々な人との出会いで、大きく成長したのでは? と勘違いしている今日この頃です…。今後も、様々なことにチャレンジしていきます!

■エスプレッソで動画を撮影するようになってはや一年。撮影、編集とまだまだ勉強中だけど、皆さんに楽しんでいただけるような動画を作っていきたいな。

Sayaka Matsunaga



Hiroko Nakagawa



■一周年おめでとー! パチパチ! T.E.スタッフになって1年。天神エスプレッソを編集する事は今回の特集である、エスプレッソを入れるのにとっても似ています。強烈な後味を残せる様な、おいしい情報を集めて行きたいですね。

Akinko



■一周年、おめでとー! ありがとうございます! 第1号からお世話になってきました。リニョールに伴い卒業になった犬の『てんじんまる』。今まで皆さんにかわいがっていただいて大変嬉しかったです。今連載させていただいている「天神ぶらぶら」の仕事は、天神の街にうとい私にとって素敵な財産となっています。これからも皆さんに楽しんでもいただけるよう頑張りたいと思います。今後もよろしくお願いいたします。

Shinobu Kawata



■エスプレッソ配信一周年おめでとー! ありがとうございます! 1つの間にか体験を始めてかれこれ10本。色々なことをさせて頂き自分にとっても、いい経験になりました。これからも皆様と一緒に成長し続けられたら嬉しいです!



「BB時代の新しい地域コンテンツを作ろう!」で始まった天神エスプレッソ。たった1年ですが、ホントいろいろありました。いっこうにその方向性が定まらず迷走飛行したことばかりが思い出されます。でも、最近微妙に流れに乗ってきましたね!何となくね。この調子?で新しい地域メディアとして頑張りますので、「動画付き電子新聞」ご愛顧の程よろしくお願ひします。 _____ 西田さん



異邦人のオヤジは走る

新聞記者という人種は案外頑固者です。東京で政治を追い、社会部で先端医療なんぞを担当すると、ファッション?食べ物?占い?バーゲン情報?...俺には全然わからんぞ、という堅物になっちゃう。というわけで、「ミュールって、なんだ。食ったことないぞ」なんてアホなことばかり言ってきた1年間。取材スタッフの娘さんもあきれ顔だが、なぜか面白くなってきたぞ。かくして異邦人のオヤジは、周囲の迷惑顧みず走り続ける。 _____ スカG



もう1年たってしまったんですね。あっという間でした。印象に残っているのは、お菓子やビールの工場で実際に作っているところを見ることができたことです。取材の合間にちょっとごちそうになりました。撮影で毎回、いろんなところへ行けるのが楽しいですね。 _____ 林さん



エスプレッソ1周年。そしてリニューアル。新しいスタイルのコンテンツが新しいデザインに生まれ変わるのは楽しみな反面、いろいろと大変な部分も多い。だけど、こうして少しずつ変化して、進化(?)し続けていくことで、新しいコンテンツの姿が見えてくる気がする。

エスプレッソに関わるようになって5ヶ月。女性の感覚が少しは分かってきたかな?と自分に問いかけてみると、どうかな?と思う今日この頃。 _____ 森松



1年前までおよそネットとは無縁で、ア〇バのCMにでてくるガッツ石松のような状態。仕事がネット関係に変わり、エスプレッソとともに成長した?かと振り返れば、きょうも、機械にKO負けだ~。 _____ 石松さん



「もう一年が過ぎたのね」。最初に企画が立ち上がった時には、隔週で毎回3本程度の映像制作ということで、“ほんとこなせるかいな?”と思ったものの、林さん、松永さんとのチームワークと、2人のすこぶる活躍ぶりでなんとか穴を空けずにここまで来れました。

これからも、見て面白くなる、やってみたくなる体験ものに情熱を注ぎこんでいくしかないっしょ。 _____ 吉松